

NHKスペシャル

シリーズ「恐竜超世界」

6600万年前、隕石衝突による絶滅の前夜、恐竜に代表される当時の生物は、地球の生物史上、類を見ないほど多様に、そして究極の進化を遂げていたことがわかってきた。これまで発見された恐竜化石は1千種に上るが、それは恐竜全体のわずか1%にすぎない。ところがこの10年ほどで、残る99%の発見が相次ぎ、恐竜たちの姿形だけでなく、どのように暮らし、戦い、子孫を残し、そして死んでいったのかという“生きざま”まで、精密に再現できるようになった。番組では、超精密CGを駆使して、最新知見に基づくリアルな恐竜世界を、2本シリーズで描き出す。

第1集 陸の王者・恐竜 真の姿に迫る

2019年7月7日(日)午後9:00～9:49(総合テレビ)

第1集の舞台は“陸”。最新研究はこれまでの常識を覆し、多種多様な恐竜が羽毛をまとっていたことが分かってきた。羽毛は恐竜を劇的に変えた。体温を維持できるようになったことで、抜群の運動能力、抱卵・子育て術を獲得、そして極寒の北極への進出が可能になり、さらには極寒を生き抜くうちに知性すら獲得していたという。姿もさまざまな羽毛恐竜が闊歩する、見たことのない恐竜世界をお伝えする。

第2集 海・恐竜に打ち勝った巨大竜

2019年7月14日(日)午後9:00～9:49(総合テレビ)

第2集の舞台は、“海”。恐竜時代の海の世界は、長い間、謎に包まれていたが、最新研究で恐竜とは似て非なる“巨大竜”が君臨していたことが分かってきた。実は巨大竜たちは、もともと陸上に住んでいた小さなトカゲの仲間だった。しかし恐竜との生存競争に負け、海に活路を見出した結果、独自の進化を遂げ海の世界に君臨。ついに恐竜にも打ち勝つ力を得た。まさに逆転のドラマがあったのだ。

その秘密が、繁殖革命。巨大竜の祖先は恐竜に追い詰められたことで、私たち哺乳類よりもはるかに前に、卵ではなく赤ちゃんを出産するという能力を獲得していたのだ。そのため、現代のクジラのように海の中だけで子孫を残すことができ、沿岸から外洋まで世界中の海への進出が可能になった。当時の海にはライバルとなる生物がおらず、無尽蔵の魚を独占。生物史上最速で巨大化を成し遂げ、海に近づく恐竜さえも獲物にしていたという。

太平洋や日本の沿岸部を舞台に、海の巨大竜たちの世界を、実写合成による超精密CGで再現。海の中で繰り広げられていた、壮大なドラマを描く。

このほか、7月1～4日「天才てれびくん YOU」(Eテレ)でNHKスペシャルのCGを使用して恐竜特別編をお伝えするなど、関連番組も多数放送予定。